

2.1.5 優先すべき事項

地球観測調査検討ワーキンググループ地球規模水循環部会と地球水循環変動研究イニシャチブ全球水循環観測プログラムで合同作業部会を設け、上述の基本的な考え方の下にそれぞれの項目に関して取り組みの重要性を議論し、専門家によるレビューを経て【表1】のように優先度を定めた。

【表1】

分類	ニーズ(重要度)	重点化の必要性
1.推進体制	(1)観測, モデル・予測, 影響評価, 対策シナリオ策定・技術開発, およびデータシステムの一貫した共同研究, 技術開発, 定常運用を企画, 調整, 運営, 評価する持続的な体制が必要	◎
2.総合観測	(1)アジア・オーストラリアモンスーンとその水循環変動観測	◎
	(2)降水の全球規模高頻度観測	◎
	(3)土壌水分の全球規模観測	◎
	(4)積雪の全球規模観測	
	(5)水蒸気の全球規模高頻度観測	○
	(7)雲の全球規模観測	
	(7)ユーラシア高緯度大陸域水循環観測	○
	(8)ユーラシア高山域の水環境観測	
	(9)アジア域における代表地点での統合的, 集中的な水循環過程の拠点観測	◎
	(10)アジア域での降水の集中観測	
	(11)アジア域での系統的な水蒸気の地上観測	
	(12)アジア域の降水・水蒸気の同位体比の高頻度観測	
	(13)アジア域での系統的な気象・水文の毎時自動観測と植生調査	○
	(14)アジア域での高層気象観測の再構築	
	(15)南極氷床域の水循環観測	
	(16)水循環観測に適する衛星センサ開発の研究の推進	◎
3.データ統合	(1)水循環観測データの統合的利用システムの開発と国際的共有システムの構築	◎
	(2)水循環データから河川・水管理に有用な情報への翻訳と水循環変動の影響把握システムの開発	○
	(3)全球データ同化による全球長期再解析の実施	
	(4)アジア域でのメソスケールデータ同化手法の開発	
4.能力開発	(1)観測技術力育成・国際プロジェクト管理・推進能力育成の研修センターの設立	○
	(2)途上国への予報手法の技術移転	